

# 2023～2032年度の連系線の運用容量 (年間・長期) (案)

2023年2月13日

1. 2023年度の年間運用容量
2. 2024年度の年間運用容量
3. 特殊日の運用容量
4. 2025～2032年度の長期運用容量
5. 全国系統の運用容量（2023年度8月平日昼間帯）

# 1. (1) 2023年度の年間運用容量 (平日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【30(④)】
	東北向	90(①)	90(①) 【60(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【30(④)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	545(①)	471(②)	541(②) 【470(①)】	【596(②)】	【576(②)】	516(②) 【446(②)】	526(②)	540(①) 【335(①)】	540(①) 【540(①)】	575(①)	580(①)	520(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【172(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	56(④)	50(④)	73(④)	88(④)	108(④)	前半101(④) 後半88(④)	64(④)	前半79(④) 後半84(④)	95(④)	109(④)	85(④)	前半71(④) 後半65(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【150(④)】	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【130(④)】	【130(④)】	160(④) 【160(④)】	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	177(④)	164(④)	190(②) 【178(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【207(④)】	【167(④)】	前半 【193(④)】 後半 【198(④)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半188(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【0(①)】	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	160(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	177(④)	164(④)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半188(④)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	415(③)	445(③) 【445(③)】	445(③) 【395(③)】	465(③)	465(③)	前半465(③) 【455(③)】 後半445(③) 【340(③)】	445(③) 【340(③)】	445(③) 【410(③)】	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(②)】	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【0(②)】	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【119(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半 120(①) 後半 120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	217(④) 【217(④)】	204(④) 【204(④)】	220(④)	235(④)	241(④)	前半239(④) 後半228(④)	217(④)	前半226(④) 後半231(④)	250(④)	274(④)	256(④)	前半238(④) 後半227(④)
	九州向	13(④) 【3(④)】	13(④) 【3(④)】	12(④)	18(④)	21(④)	前半19(④) 後半17(④)	7(④)	前半16(④) 後半17(④)	19(④)	21(④)	10(④)	前半11(④) 後半10(④)

( ) 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 1. (2) 2023年度の年間運用容量 (平日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(④)】
	東北向	90(①)	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(④)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	491(②)	416(②)	501(②) 【436(②)】	【546(②)】	【536(②)】	476(②) 【406(②)】	481(②)	535(①) 【350(①)】	530(①) 【521(②)】	525(①)	530(①)	500(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【172(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	85(④)	74(④)	83(④)	99(④)	105(④)	前半107(④) 後半97(④)	94(④)	前半101(④) 後半104(④)	117(④)	130(④)	130(④)	前半111(④) 後半104(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【203(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【210(②)】	【210(②)】	前半 【210(②)】 後半 【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0①】	30(①)	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①) 【0①】	【0①】	【0①】	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0①】	30(①)	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①) 【0①】	【0①】	【0①】	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	425(③)	445(③) 【445(③)】	445(③) 【395(③)】	465(③)	465(③)	前半455(③) 後半445(③)	445(③)	445(③) 【410(③)】	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70①】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0②】	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	192(④) 【192(④)】	176(④) 【176(④)】	189(④)	199(④)	202(④)	前半204(④) 後半191(④)	187(④)	前半198(④) 後半199(④)	216(④)	233(④)	236(④)	前半211(④) 後半200(④)
	九州向	31(④) 【21(④)】	26(④) 【17(④)】	29(④)	34(④)	38(④)	前半38(④) 後半34(④)	35(④)	前半38(④) 後半40(④)	43(④)	45(④)	44(④)	前半40(④) 後半38(④)

( ) 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 1. (3) 2023年度の年間運用容量 (休日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【102(①)】	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	545(①)	476(②)	555(①) 【481(②)】	【591(②)】	【576(②)】	551(②) 【466(②)】	526(②)	540(①) 【335(①)】	540(①)	575(①)	580(①)	520(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【172(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	31(④)	33(④)	39(④)	63(④)	83(④)	前半68(④) 後半58(④)	40(④)	前半47(④) 後半55(④)	69(④)	80(④)	55(④)	前半46(④) 後半41(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	132(④)	135(④)	145(④) 【126(④)】	178(④)	190(②)	前半188(④) 後半171(④) 【155(④)】	【129(④)】	前半 【144(④)】 後半 【156(④)】	185(④) 【171(④)】	190(②)	169(④)	前半157(④) 後半149(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	132(④)	135(④)	145(④) 【0(①)】	178(④)	190(②)	前半188(④) 後半171(④) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	185(④) 【0(①)】	190(②)	169(④)	前半157(④) 後半149(④)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	425(③)	425(③)	445(③)	465(③)	465(③)	前半455(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(②)】	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半 120(①) 後半 120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	182(④) 【182(④)】	173(④) 【173(④)】	182(④)	202(④)	217(④)	前半208(④) 後半193(④)	185(④)	前半191(④) 後半199(④)	207(④)	219(④)	211(④)	前半201(④) 後半195(④)
	九州向	5(④) 【0(④)】	7(④) 【0(④)】	4(④)	10(④)	17(④)	前半12(④) 後半11(④)	1(④)	前半8(④) 後半10(④)	13(④)	13(④)	2(④)	前半5(④) 後半5(④)

( ) 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 1. (4) 2023年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【180(①)】	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	486(②)	421(②)	516(②) 【441(②)】	【541(②)】	【536(②)】	511(②) 【426(②)】	481(②)	535(①) 【350(①)】	530(①)	525(①)	530(①)	500(①)
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【120(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【172(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	63(④)	54(④)	57(④)	78(④)	84(④)	前半82(④) 後半78(④)	73(④)	前半86(④) 後半94(④)	107(④)	122(④)	109(④)	前半95(④) 後半82(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	176(④)	165(④)	169(④) 【161(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【189(④)】	【182(④)】	前半 【201(④)】 後半 【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	176(④)	165(④)	169(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半 【0(①)】 後半 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	425(③)	425(③)	445(③)	465(③)	465(③)	前半455(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	前半440(③) 後半425(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(②)】	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半 120(①) 後半 120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	172(④) 【172(④)】	158(④) 【158(④)】	167(④)	179(④)	187(④)	前半180(④) 後半171(④)	165(④)	前半171(④) 後半179(④)	198(④)	214(④)	208(④)	前半197(④) 後半183(④)
	九州向	24(④) 【16(④)】	21(④) 【13(④)】	22(④)	28(④)	31(④)	前半29(④) 後半29(④)	28(④)	前半34(④) 後半37(④)	40(④)	44(④)	40(④)	前半36(④) 後半32(④)

( )内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 2. (1) 2024年度の年間運用容量 (平日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【30(④)】
	東北向	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(④)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【30(④)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(④)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【430(①)】	516(②) 【380(①)】	431(②) 【361(②)】	541(②)	615(①)	456(②)	431(②) 【401(②)】	466(②) 【476(②)】	540(①) 【340(①)】	580(①)	580(①)	520(①) 【455(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【150(③)】	【150(①)】	【135(④)】	【180(①)】	【180(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(④)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【150(①)】	【127(④)】	【172(①)】	【172(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(④)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	57(④) 【0(①)】	50(④)	73(④)	89(④)	108(④)	前半101(④) 後半88(④)	64(④)	前半80(④) 後半84(④)	96(④)	109(④)	85(④)	前半72(④) 後半66(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	130(④)	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	177(④)	165(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【210(②)】 後半190(②) 【208(④)】	185(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半189(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	130(④)	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	177(④)	165(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	185(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半189(④)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	415(③) 【425(③)】	415(③)	425(③)	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③) 【415(③)】	445(③)	445(③) 【415(③)】	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140① 【0(①)】	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0②】	0(②) 【0②】	0(②) 【0②】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半 120(①) 後半 120(①)	120(①) 【31(④)】	前半120(①) 【45(④)】 後半120(①) 【48(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【33(④)】 後半120(①) 【29(④)】
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	216(④) 【216(④)】	204(④) 【204(④)】	220(④)	234(④)	240(④)	前半238(④) 後半228(④)	216(④)	前半225(④) 後半230(④)	249(④)	273(④)	255(④)	前半238(④) 後半226(④)
	九州向	13(④) 【2(④)】	13(④) 【3(④)】	12(④)	18(④)	21(④)	前半19(④) 後半17(④)	7(④)	前半16(④) 後半17(④)	19(④)	21(④)	10(④)	前半11(④) 後半10(④)

( ) 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 2. (2) 2024年度の年間運用容量 (平日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
	東北向	90(①)	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【380(①)】	466(②) 【330(①)】	381(②) 【311(②)】	491(②)	560(①)	406(②)	436(②) 【406(②)】	446(②) 【461(②)】	530(①) 【335(①)】	555(①)	555(①)	481(②) 【430(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【150(③)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【90(①)】	【135(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【150(①)】	【142(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【90(①)】	【135(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	85(④) 【0(①)】	74(④)	83(④)	99(④)	106(④)	前半107(④) 後半97(④)	94(④)	前半101(④) 後半104(④)	117(④)	130(④)	130(④)	前半111(④) 後半104(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【210(②)】 後半190(②) 【210(②)】	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	415(③) 【425(③)】	415(③)	425(③)	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半 120(①) 後半 120(①)	120(①) 【76(④)】	前半120(①) 【95(④)】 後半120(①) 【97(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【94(④)】 後半120(①) 【86(④)】
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	192(④) 【192(④)】	175(④) 【175(④)】	188(④)	198(④)	201(④)	前半203(④) 後半190(④)	187(④)	前半197(④) 後半199(④)	215(④)	232(④)	235(④)	前半210(④) 後半199
	九州向	30(④) 【21(④)】	26(④) 【17(④)】	29(④)	34(④)	37(④)	前半38(④) 後半34(④)	35(④)	前半38(④) 後半39(④)	43(④)	45(④)	44(④)	前半40(④) 後半38(④)

( ) 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 2. (3) 2024年度の年間運用容量 (休日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	521(②)	516(②)	436(②)	556(②)	615(①)	456(②) 【451(②)】	431(②) 【401(②)】	466(②) 【476(②)】	540(①) 【340(①)】	580(①)	580(①)	520(①) 【455(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【150(③)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【60(①)】	【60(①)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【129(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【150(①)】	【142(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【60(①)】	【60(①)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	31(④)	33(④)	40(④)	63(④)	83(④)	前半68(④) 後半58(④)	39(④)	前半47(④) 後半55(④)	69(④)	80(④)	55(④)	前半46(④) 後半41(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	132(④)	136(④)	145(④)	179(④)	190(②)	前半188(④) 後半172(④) 【156(④)】	147(④)	前半159(④) 後半172(④)	186(④)	190(②)	169(④)	前半157(④) 後半150(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	132(④)	136(④)	145(④)	179(④)	190(②)	前半188(④) 後半172(④) 【0(①)】	147(④)	前半159(④) 後半172(④)	186(④)	190(②)	169(④)	前半157(④) 後半150(④)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	415(③)	415(③)	425(③)	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半 120(①) 後半 120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【116(④)】	前半120(①) 【18(④)】 後半120(①) 【13(④)】
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	182(④) 【182(④)】	173(④) 【173(④)】	181(④)	201(④)	216(④)	前半207(④) 後半192(④)	185(④)	前半191(④) 後半199(④)	207(④)	218(④)	211(④)	前半200(④) 後半194(④)
	九州向	5(④) 【0(④)】	7(④) 【0(④)】	4(④)	10(④)	17(④)	前半12(④) 後半10(④)	1(④)	前半8(④) 後半10(④)	13(④)	13(④)	2(④)	前半5(④) 後半5(④)

( ) 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 2. (4) 2024年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照  
単位：万kW 10

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	471(②)	466(②)	386(②)	506(②)	560(①)	406(②) 【401(②)】	436(②) 【406(②)】	446(②) 【461(②)】	530(①) 【335(①)】	555(①)	555(①)	481(②) 【430(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【150(③)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【135(①)】	【90(④)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【129(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【150(①)】	【142(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【135(①)】	【90(①)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 <sup>注1)</sup>	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	63(④)	55(④)	57(④)	78(④)	84(④)	前半82(④) 後半78(④)	73(④)	前半87(④) 後半94(④)	108(④)	122(④)	110(④)	前半95(④) 後半82(④)
北陸フェンス <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	176(④)	165(④)	169(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【189(④)】	188(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0①】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 <sup>注1)</sup>	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	176(④)	165(④)	169(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	188(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 <sup>注1)</sup>	関西向	415(③)	415(③)	425(③)	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【70(①)】	140① 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【0②】	0(②) 【0②】	0(②) 【0②】	0(②) 【0②】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半 120(①) 後半 120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【78(④)】 後半120(①) 【68(④)】
中国九州間連系線 <sup>注1)</sup>	中国向	172(④) 【172(④)】	158(④) 【158(④)】	166(④)	178(④)	186(④)	前半179(④) 後半170(④)	165(④)	前半171(④) 後半179(④)	197(④)	213(④)	207(④)	前半197(④) 後半183(④)
	九州向	24(④) 【16(④)】	21(④) 【13(④)】	22(④)	28(④)	31(④)	前半29(④) 後半29(④)	28(④)	前半34(④) 後半36(④)	40(④)	44(④)	40(④)	前半36(④) 後半32(④)

( ) 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

# 3.特殊日の運用容量

特殊日として扱う日については、系統情報サービス「2023年度・2024年度連系線運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」参照  
単位：万kW

## 2023年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	414	—	—
中部関西間連系線*1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	25(④)	85(④)	61(④)
		夜間帯	49(④)	89(④)	107(④)
北陸フェンス*1	中部・関西向	昼間帯	126(④)	190(②)	174(④)
		夜間帯	158(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*1	中国向	昼間帯	120(①)	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①)	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線*1	中国向	昼間帯	167(④)	227(④)	197(④)
		夜間帯	155(④)	189(④)	192(④)
	九州向	昼間帯	6(④)	20(④)	8(④)
		夜間帯	20(④)	32(④)	42(④)

## 2024年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	405	—	—
中部関西間連系線*1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	25(④)	85(④)	61(④)
		夜間帯	49(④)	89(④)	107(④)
北陸フェンス*1	中部・関西向	昼間帯	126(④)	190(②)	174(④)
		夜間帯	159(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*1	中国向	昼間帯	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
		夜間帯	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	昼間帯	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
		夜間帯	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線*1	中国向	昼間帯	166(④)	226(④)	196(④)
		夜間帯	154(④)	189(④)	191(④)
	九州向	昼間帯	6(④)	20(④)	8(④)
		夜間帯	20(④)	32(④)	41(④)

( )内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。  
\*1 休日または特殊日明けの夜間帯のうち0:00~8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。

# 4.2025～2032年度の長期運用容量

単位：万kW

連系線	潮流方向	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
北海道本州間連系設備 <sup>1)</sup>	北海道向	90(①)	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
東北東京間連系線 <sup>2)3)</sup>	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	631(①)	631(①)	631(①)	631(①)	631(①)
	東京向	551(②)	551(②)	551(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)
東京中部間連系設備 <sup>4)</sup>	東京向	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
	中部向	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
中部関西間連系線	中部向	250(④) 【200(④)】							
	関西向	126(④) 【25(④)】							
北陸フェンス	北陸向	150(④) 【70(④)】							
	中部・関西向	190(②) 【126(④)】							
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線	北陸向	150(④) 【70(④)】							
	関西向	190(②) 【126(④)】							
関西中国間連系線	関西向	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【0(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(①)】	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線	中国向	278(①) 【154(④)】							
	九州向	21(④) 【1(④)】							

( )内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【】内の数字は、最大需要時以外で空容量が小さくなると予想される値を示す。

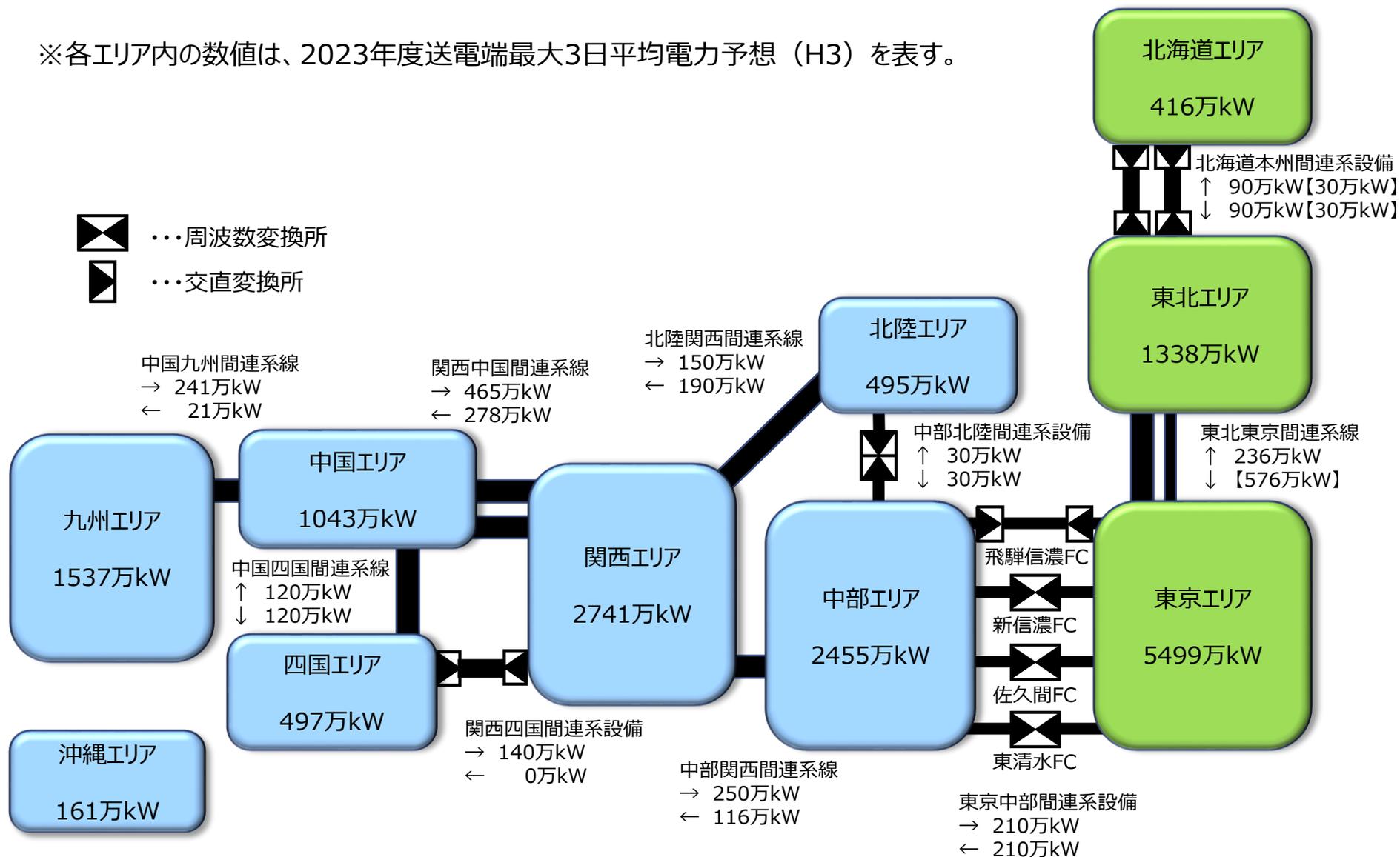
1) 2027年度に北海道本州間連系設備30万kWの増強を予定。

2) 2027年第二連系線運開後は、631万kW(相馬双葉幹線1回線熱容量相当)になる見込み。

3) 2027年第二連系線運開後は、1028万kW(東北東京間連系線に係る広域系統整備計画に基づく)になる見込み。

4) 2027年度に東京中部間連系設備90万kWの増強を予定。

※各エリア内の数値は、2023年度送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。



【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。